

特定非営利活動法人 日本免疫学会  
Tadamitsu Kishimoto International Travel Award for the 15<sup>th</sup> ICI  
研究発表報告書

申請者氏名	河本 新平	会員番号	0031695
申請者の所属・職名	理化学研究所 統合生命医科学研究センター (RCAI-IMS) 粘膜免疫研究チーム 基礎科学特別研究員		
出席会議名	第15回 国際免疫学会議 (ICI2013)		
発表論文 タイトル	The inhibitory receptor PD-1 regulates IgA selection and bacteria composition in the gut		

実施結果:

この度、Tadamitsu Kishimoto Travel Award for 15th ICIの援助を賜り、イタリアミラノにて8月22日～27日に開催されました第15回国際免疫学会議に参加しました。世界中の著名な免疫学者が一堂に介し、免疫学のさまざまな分野における最新の研究成果が発表された非常に有意義な学会でした。この学会に参加して驚いたのが、私の研究分野である腸管免疫学における発表の数が、これまでの学会に比べ飛躍的に増えたことです。これまで腸管免疫を専門にしてこなかった有名な免疫学者の多くが、腸管に注目し数多くの非常に興味深い研究成果をあげているのを目の当たりにすることで、よりよい研究をするためには、自身の研究においてもスピード感を持ってより一層の努力をしなければならぬと痛感しました。また、自分と同世代の海外の研究者や製薬会社で働く研究者からいろいろな話を聞くことができ、これからのキャリアを考える上でも非常に有意義な機会であったと感じています。

私は、「Follicular helper T cells」というワークショップにおいて、抑制性受容体であるPD-1が腸管IgA産生や腸内細菌叢に与える影響に関する研究成果を口頭発表しました。海外の学会で口頭発表をするのは、今回が初めての経験であり、非常に緊張もしましたが、大変貴重な経験をさせていただくことができました。発表後にも自分では考えつかなかった多方面からの質問および助言をいただき、自身の研究をより深く考えるよいきっかけになったと思います。なにより、多くの研究者の方々から、私の口頭発表が非常にわかりやすく素晴らしい発表であったと言っただけのほうれしかったです。今回の学会参加を通して得られた貴重な経験を生かして、よりよい研究を行うことが出来る様、これまで以上に精進していきたいと思っています。